



20世紀初... 教伝来の道... 14)のうち... 集された資... を調査した... 像5体で、... た。同ルー... 来年の探検... な資料の発



大谷探検隊の野村礼讓隊員(上)と発見されたブロンズ像の中の1体

たのは、東京都内に住む野村隊員の二女・遠藤康子さん(八三)と二男の妻・野村美佐子さん(七三)。一九〇三年の資料から、不明だった野村隊員の当時の足跡やその後、調査に同行した隊員四人の人物像もわかってきたことは今回の調査の大きな成果といえる。同ルートの調査には、野村隊員をはじめ、茂野純一隊員(和歌山県有田市・浄念寺出身)、吉見円蔵隊員(山口県萩市・光源寺出身)、前田徳水隊員(三重県桑名市・西福寺出身)、十分想定できる。また、イギリスやフランスをはじめ、この地域に注目していた国は多く、光瑞師もこの国際情勢を意識していなかったとは考えにくい。さらなる研究の余地がある」と話している。今回の調査の報告は、まもなく発刊される史学雑誌『東洋史苑』五十九号に掲載され、研究者などに広く公表される。

メラは現在、龍谷大学大宮図書館に所蔵されている。このカメラは、ガラス乾板使用の暗箱式カメラで、本体はイギリスのソレイトン・ピッカード製、レンズはドイツのカールツワイス・イエナ製である。隊員たちはこれらのカメラを駆使して、記録写真を残したのである。ところで大谷探検隊の行動を探る上で重要な書物の

第1部・探検活動

日本人の僧侶との結婚を通し、日本で坊守として活躍する外国人女性が本山に集まり九月二十五日から三日間、第一回外国人坊守会プログラムが開催され、日頃の活動や悩みなどが話し合われた。

参加したのはポーランド出身のアグネス・エンジェエスカさん(横浜市・光輪寺)、ドイツ出身のベッティナ・ラングナ・寺本さん(大阪市・極楽寺)、イギリス出身の吉村ヴィクトリアさん(宮崎県高千穂町・正念寺)の三人。一九九

〇年から活躍するアグネスさんが発起人となり、外国人坊守会が発足。アグネスさんは「サポートのない中で活動は大変。日本で居

心地のいい坊守活動をしてもらいたい」と理由を語っている。期間中には本山の彼岸会参拝、信楽峻鷹龍谷大学名習会を年二回開く予定。

普教授の講義を受けたほか、武野以徳総長から激励の言葉を受けた。同会は今後、こうした講習会を年二回開く予定。

対し、同実行委員会が「憎しみは憎しみを生み出し、いのちを奪う行為につながります。私たちはテロ、報復攻撃、報復への支援を許すことは出来ません」などと声明文を発表、募金活動の緊急提言とあわせて採択された。募金の八万五千円はアフガニスタンで十七年間、医療や井戸掘りをしてきたNGOのペシャワール会に送られた。



はじめ、基幹運動や仏婦活動について研修した。

感想が出され、「活動の活性化には住職や坊守の協力」を語り合う参加者たち

九州地区真宗青年の集い開く 【福岡】第二十八回九州地区真宗青年の集い・福岡大会(三笠崇雄実行委員長)が十月十三、十四日、「〇△」認められる世界の中で」をテーマに本願寺福岡会館などで開催され、二百七十人が参加した。

大会テーマの趣旨説明に続き、ラジオのDJとして活躍する北野順一氏を司会

いでは「自分は好きですか、嫌いですか」「なぜこの宗教を選んだのですか」といった問いかけもなされた。

閉会式では米国同時多発テロとその後の報復攻撃に

境内に菊70鉢 菊花法要営む

備後・慶照寺

【備後】咲き誇る菊を樂しみながら仏法を聴聞する「菊花一座法要」が十一月九日、広島県府中市の慶照寺(田坂英峻住職)で営ま

はじめ、基幹運動や仏婦活動について研修した。

感想が出され、「活動の活性化には住職や坊守の協力」を語り合う参加者たち

九州地区真宗青年の集い開く 【福岡】第二十八回九州地区真宗青年の集い・福岡大会(三笠崇雄実行委員長)が十月十三、十四日、「〇△」認められる世界の中で」をテーマに本願寺福岡会館などで開催され、二百七十人が参加した。

大会テーマの趣旨説明に続き、ラジオのDJとして活躍する北野順一氏を司会

いでは「自分は好きですか、嫌いですか」「なぜこの宗教を選んだのですか」といった問いかけもなされた。

閉会式では米国同時多発テロとその後の報復攻撃に

対し、同実行委員会が「憎しみは憎しみを生み出し、いのちを奪う行為につながります。私たちはテロ、報復攻撃、報復への支援を許すことは出来ません」などと声明文を発表、募金活動の緊急提言とあわせて採択された。募金の八万五千円はアフガニスタンで十七年間、医療や井戸掘りをしてきたNGOのペシャワール会に送られた。